

【2013年12月11日案件説明会議資料】 AAR Japan [難民を助ける会]
カフエ郡におけるHIV/エイズ対策事業（第2期申請） 参考写真資料

第1期事業成果

ART支援体制の基礎づくり

(ア) 抗レトロウイルス治療(ART)センターの 建設と整備 (カフエタウン、チランガ)



(支援実施前)



カフエタウンのナンゴングウェ・クリニックおよびチランガの
マウントマクル・クリニックの敷地内にARTセンターを建設し
た(写真はナンゴングウェ・クリニックのARTセンター)

(イ)ART患者情報管理システムの改善と確立 (カフエタウン、チランガ)



(支援実施前)



通院が途絶えているART登録患者のリストを作成し、
家庭訪問を実施して患者の近況を確認した。

(イ)ART患者情報管理システムの改善と確立 (カフエタウン、チランガ)



患者の通院・処方履歴を速やかに照会できるSmartCare(患者情報管理ソフトウェア)の導入し、患者の電子登録作業を進めた。

(ウ)服薬支援ボランティアの選定・育成 (カフエタウン、チランガ)



服薬支援ボランティアを選定し、各種研修を開催した。ボランティアによる患者の家庭訪問と、クリニック内でのグループカウンセリングを開始した。
(写真はボランティアを対象にした研修の様子)

(エ)ART患者とその親近者に対する啓発活動 (カフェタウン、チランガ)



ART患者とその親近者を対象にHIV/エイズと服薬治療についての勉強会を定期的を実施した。

第2期事業概要

ART支援体制の強化

(ア) 抗レトロウイルス治療(ART)センターの 建設と整備(ムウェンベシ)



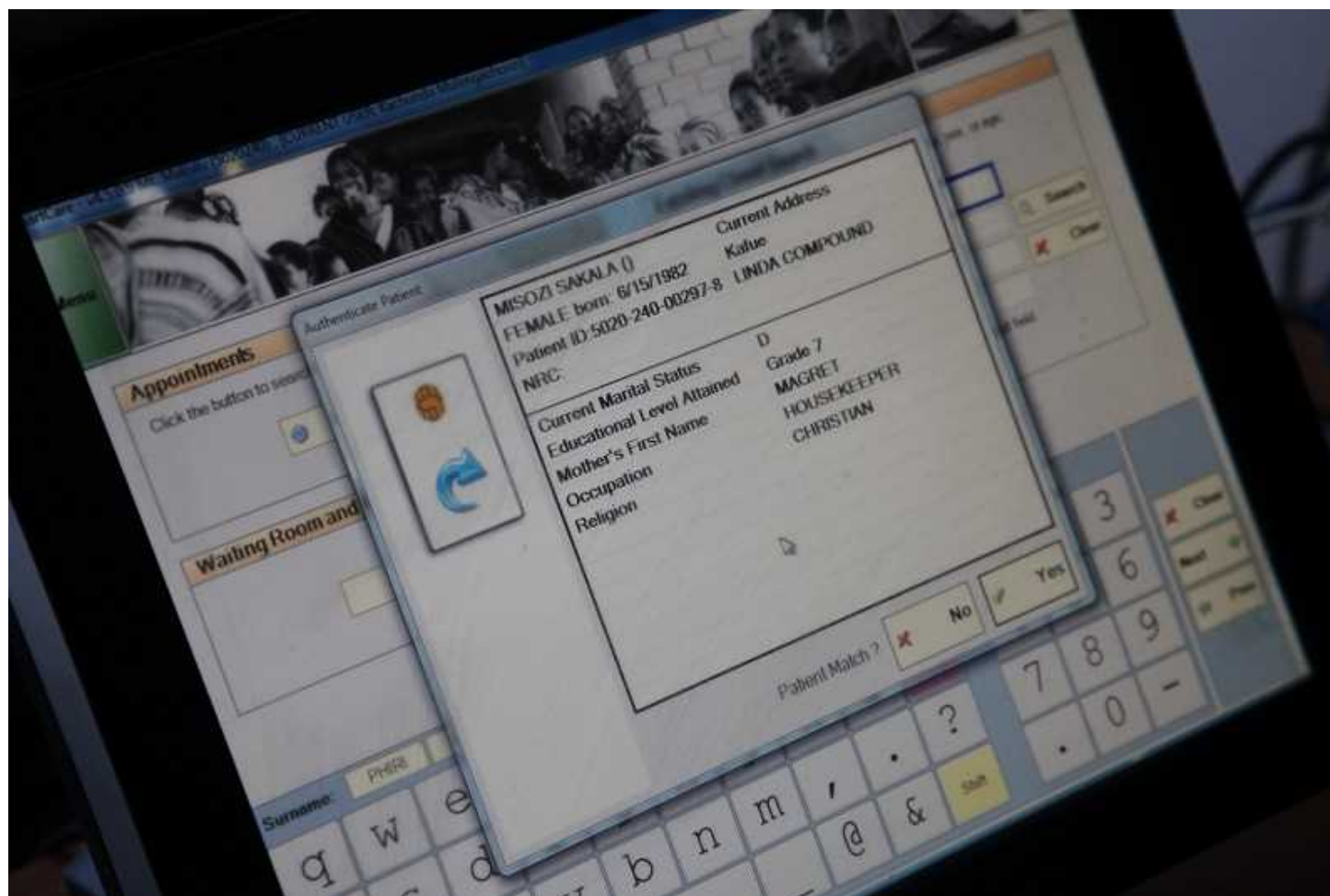
ムウェンベシ・クリニックの敷地内にARTセンターを新設する。
(写真は現ムウェンベシ・クリニックの様子。がん診療科と同室で
受けるART患者)

(ア) 抗レトロウイルス治療(ART)センターの 建設と整備 (カフエタウン、チランガ)



プリンターや患者ファイル用棚などの備品を整備し、機能強化を図る。
(写真は新設したナンゴングウェクリニックのARTセンター)

(イ)ART患者情報管理システムの改善と確立



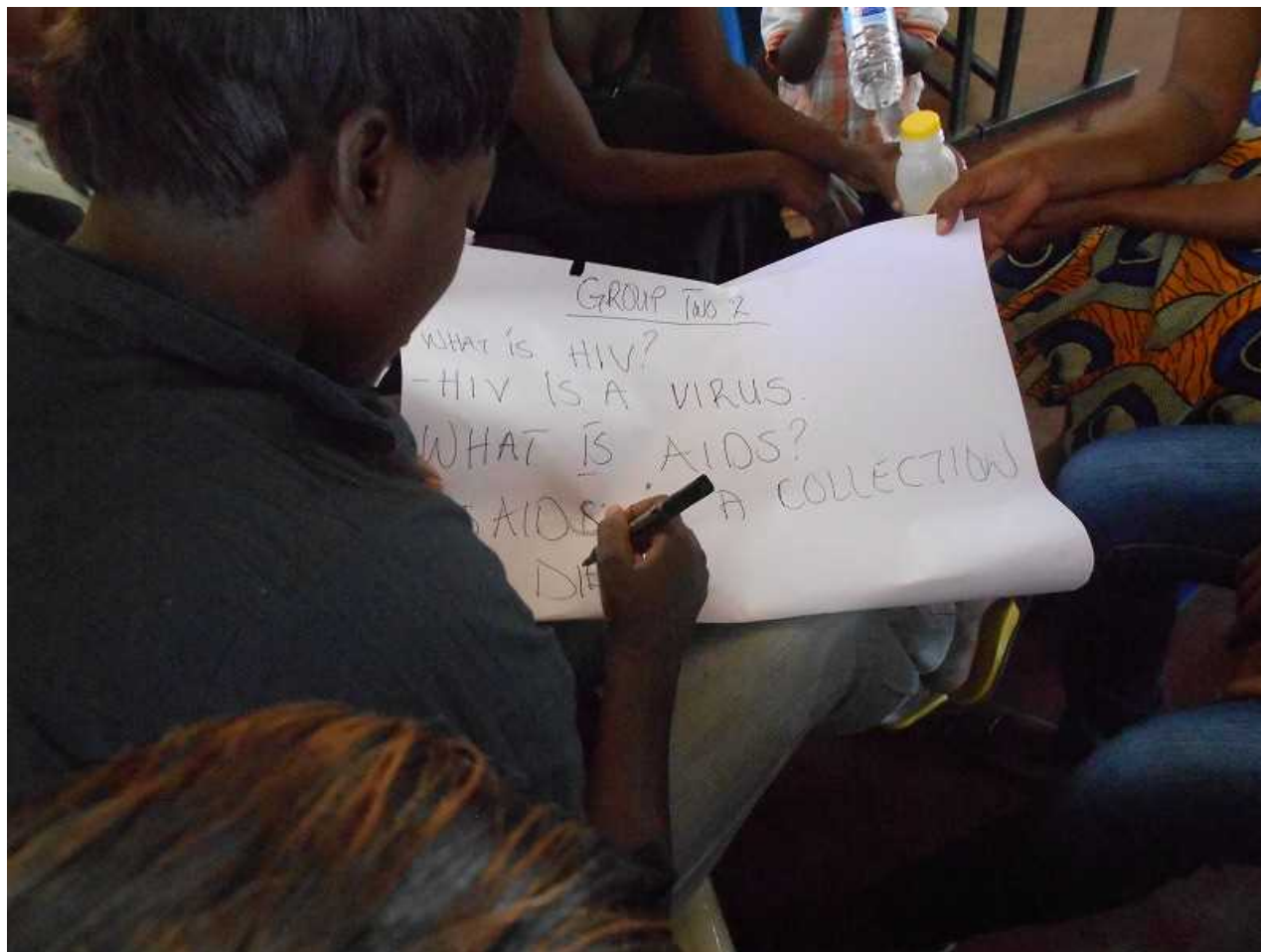
保健省および各クリニックと連携し、SmartCareを活用した患者情報管理システムの定着を図る。

(ウ)服薬支援ボランティアの選定、育成、自立支援 (カフエタウン、チランガ、ムウェンベシ)



カフエタウン、チランガ： ボランティアの患者支援活動を推進する。
ムウェンベシ： ボランティアの選定と研修を実施し、育成を図る。

(エ)ART患者とその親近者に対する啓発活動 (カフエタウン、チランガ、ムウェンベシ)



カフエタウン、チランガは継続。第2期よりムウェンベシでも展開する。

(オ)学校エイズ対策クラブの啓発活動支援 (ムウェンベシ)



HIV/エイズ基礎知識や啓発活動準備のためのワークショップを開催し、学内で予防啓発に携わる人材を育成する。またクラブ顧問教師を対象とした指導者研修も実施する。(写真は当会2007年実施例)